

臨床検査技師育成プラン

採用年数	1～7	8～18	19～	(Ⅱ4年以降)
職位	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	管理職
求められる人材	基本的な知識・技術による検査の実施 目的意識を持ち自ら考え行動する職員	高度の知識技術また経験による検査の実施 担当部署の運営サポート 後輩指導	広い専門性知識による検査の実施と後輩の 育成指導とリーダーシップ 係長のサポート	担当部署の管理運営
検査業務担当	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>担当検査業務の習得と拡大</p> <p>採血業務習得 日当直業務習得</p> <p>継続担当</p> </div> <div style="width: 60%; text-align: center;"> <p>後輩の教育</p> <p>専門業務を担当 (経食道工コーサポート 移植関連業務 電子顕微鏡検査業務 遺伝子検査 他)</p> <p>チーム医療担当 NST/DM/感染制御</p> <p>(入職3年以降から担当を異動、検査業務を習得、専門業務/チーム医療を担当する)</p> </div> <div style="width: 20%; text-align: right;"> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> </div> </div>			
キャリア	WGサブリーダーからリーダー (当直改善、機器文書管理・研修会・安全管理)		担当部署リーダー リスクマネージャー	係長 技師長
外部研修	タイムマネジメント ロジカルシンキング コミュニケーション	問題解決 KYT プレゼンテーション 後輩指導 Ⅱ昇任研修	キャリアデザイン研修 アサーション チームビルディング	チームマネジメント Ⅲ昇任者研修 コーチング ファシリテーション
外部活動	学会発表	学会発表(指導)・論文投稿・研修会講師・検査技師会研究班・学会評議員・横浜市精度管理専門委員・横浜市安全管理委員		
学会・研修会	日本臨床検査技師会・日本微生物学会・日本超音波検査学会・日本輸血細胞治療学会・日本臨床細胞学会 など各種学術集会・研修会の参加と認定資格の取得			

認定資格 (経験年数)	検体検査	生理機能検査	輸血検査	病理検査	その他
1-3年	二級臨床検査士(臨床化学、免疫血清学、血液学、微生物学、循環生理学、呼吸生理学、)			細胞検査士	医療情報技師
4-7年	緊急検査士 認定一般検査技師 認定血液検査技師 認定臨床微生物検査技師 感染制御認定臨床微生物 認定臨床検査・免疫化学精度保証管理検査技師	認定心電技師 認定技術師(脳波) 超音波検査士 血管診療技師	細胞治療認定管理師 認定輸血検査技師	2級甲類臨床病理技術師 国際細胞検査士 認定病理検査技師 2級電子顕微鏡技師	有機溶剤作業主任者 遺伝子分析科学認定士 一般毒物劇物取扱者 NST専門療法士 糖尿病療法士、胚培養士